



Make Dreams Real 夢をかたちに

地区テーマ 楽しいロータリーで、仲間を増やそう

本クラブテーマ 実践と充実感

会長報告

樋渡 美智子

会議等の報告

○3月10日(火) 50周年記念事業実行委員会
藤川、真島、高橋、御橋、佐々木、加藤恒、塚原、阿部、佐藤友、嶺岸、若生、樺野、富樺、加藤賢の皆さんと樋渡出席。

○3月14日(土) PETS

富樺松夫エレクト、阿部純次次年度幹事出席。

○3月16日(月) GSEチーム台湾・高雄へ出発。

○3月19日(木) 国際交流財団会議 会長が出席。

◆「どうも」

ロータリーの友の3月号に石坂公成県教育委員長の2800地区大会の講演内容が掲載されていた。地区大会で聞いた講演よりも、吟味できるので理解しやすかったが、今教育にかけているものは、コミュニケーションの不足であり、それにともなう教育であると強調していると私なりにとらえた。

ところが、日本には昔から「出る杭は打たれる」ということばがあり、みんなと同じ行動をとらない人、意見を言う人を仲間はずれとか、村八分にした。そのながれが今日まで大なり小なり影響しているのではないかと思われる。

しかも、主語も述語もなく、意見をかわす必要のない便利な日本語も多いのです。言葉ひとつで何でも通用することばもあります。それは、「どうも」です。

朝、昼、晩の挨拶をする時も「どうも」。失敗してあやまる時も「どうも」。相手に感謝する時も「どうも」。自分なりの言葉を発しなくとも間に合うのです。

4月は… ロータリーの雑誌月間

出席報告

会員数	46名
出席	29名
出席率	69.05%
前回確定出席率	69.05%

国際ロータリー2800地区 鶴岡ロータリークラブ

第2448回(本年度第35回)例会 2009.3.24

●例会日／毎週火曜日(12:30~13:30)

●例会場／東京第一ホテル鶴岡

鶴岡市錦町2-10 Tel.0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

以心伝心のように言葉をかわさなくとも、お互いが理解が得られればよいのですが、世の中多様化していく中、年代によって価値観もちがう現代の日本では、言葉なしには、お互いの理解が得られる筈がありません。他の人達や仲間との間で心を通わすことができて、初めて人間社会の一員になれる。コミュニケーションは自分たちの意見をかわし、相手と心をかよわすために必要なのです。

私事ですが、今でも忘れない言葉があります。それは、ある例会の時、空いている席があったので、その席に座ろうとしましたら「ここは、〇〇さんが座るから」といわれ、別の席を探しました。

子ども達は、遠足や宿泊のグループつくりの時、開口一番に「好きな人同士で」といいますが、ロータリーの仲間とは、どんな仲間であるべきなのだろうか。といえば、ロータリーの4つのテストに、――みんなに公平か、好意と友情を深めるか――

幹事報告

越智 茂昭

○ガバナー事務所

ロータリーレートの変更のお知らせ

4月より1ドル98円(現行1ドル90円)

○株式会社 JTB 東北庄内支店

4月1日より 鶴岡支店→庄内支店へ名称変更

(住所、電話番号等の変更はありません)

戦艦大和

御橋 義諦

戦艦大和の話をします。戦艦大和に関しては吉田満の本が出ています。吉田満は1923年東京に生まれました。東京府立四中、旧制東京高等学校を経て、



- R.I 会長 李 東 建 ■ 地区ガバナー 武田和夫
- 会長／樋渡美智子 ■ 副会長／佐藤孝子 ■ 幹事／越智茂昭
- 会報委員会／松井 亨・北川米三

事務局：鶴岡市馬場町11-63鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376 E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp



創立50周年式典
2009年4月18日



1942年に東京帝国大学法学部に入学します。1943年10月、学徒出陣により海軍予備学生として武山海兵团に入団、1944年に海軍電測学校を経て少尉（予備少尉）に任官、12月戦艦大和に副電測士として乗艦しました。電測と言うのはレーダーのことです。一番上のブリッジにいました。だからこの人は助かったと思います。乗員3千何人のうち9割は亡くなりました。

私は戦艦大和を見かけたことがあります。武藏が沈んだレイテ沖海戦で、生還した大和が呉軍港でドックに入っていた時です。日記を見ると昭和19年12月21日となっています。私はマメに日記を付けておりました。海軍では日記を付けていても没収はされませんでした。毎日どんなことがあったのかを書く日課表は提出しますが、それとは別に日記を付けても良かったので今でも持っています。12月21日は木曜日でした。その日は乗艦実習といつて明治時代の「八雲」という8千トンほどの巡洋艦に乗っていました。たまたま呉軍港のそばに来た時に友達が「おい、あれ大和だ」と言いました。隣にいたのは「戦艦榛名」3万6千トンで私は知っていました。大和は榛名と並んでいました。比べてみると一升瓶とビール瓶が並んでいるような感じでした。つまりそれだけ幅が広くて大きかったです。レイテ沖海戦に勝利したアメリカ軍は日本が占領していたフィリピンを攻略し、とうとう沖縄へ上陸しました。これに対し日本軍は天一号作戦を発動し、昭和20年4月5日、大和は海上特攻隊として沖縄への突入が決定され、出撃準備を完成すべしとの命令が下ります。大和は4月6日、瀬戸内海の柱島から出撃しました。付き従うのは、第二水雷戦隊旗艦矢矧と6隻の駆逐艦です。上空を護衛する飛行機はありません。つまり丸裸で沖縄に出かけたのですが、すぐB-29に発見され、坊ノ岬沖海戦で沈没しました。これを吉田満が「戦艦大和の最後」という本に書きました。改めて読むと私なりに興奮します。4月7日徳之島北西200海里の辺りで沈没しました。乗組員の3,332名の内、助かったのは276人、1割おりません。その日私はどうしていたか、日記を見たら兵学校で授業がありました。1、2時間目は見張り法、3、4時間目は基礎数学、まだ英語もやっていました。12時半から16時までは大掃除と言って甲板を磨くのですがきつい作業です。これが終わってから棒倒しをしました。負けると訓練の

ある大変厳しいものでした。攻撃と防御に分かれ、一番下のものは棒を支える役回りです。攻撃側がかぶさってくるので、重くて、上で何が起きているか分かりません。軽くなると終わったなど感じました。私は上のほうに行かないうちに戦争が終わりましたから下積みばかりでした。今下積みでも頑張れるのはそのせいです。

大和のことを見たければ、今、呉に大和ミュージアムと言うのがあります。戦前の日本人の心が伝わる資料があります。時間ですので終わります。

退会の挨拶

足立篤司



4年間本当にありがとうございました。大学時代の和歌山、震災を挟んだ神戸、そして鶴岡とそれぞれ4年間を過ごしました。妻も、20歳を越えた娘もこちらに参りました。大阪にいる両親も参りまして、皆庄内ファンになりました。ロータリアンとしては出席率がよくない不良会員だったと思います。皆さんとお話をさせていただいて楽しいなど感じられる頃になって秋田へ転勤ということになりました。4月18日の50周年には秋田から2時間位でこれますので参加させて頂きます。ありがとうございました。

委員会報告

50周年記念事業委員会

4月7日に市民憲章石碑贈呈式を行います。例会終了後、午後2時まで市役所前にお集まりください。

SAA・出席委員会

●マークアップされた方

丸山 隆志 佐藤 孝子 樋渡美智子 菅原 亨

●スマイル

藤川 享胤君 3月14日、15日、2710地区広島県のライラが行われ、記念講演をしてまいりました。50周年に配偶者の参加が現在7名です。多くのお客様をお迎えしますことから配偶者のご協力を重ねてお願い致します。

佐藤孝子君 手術も終わり元気になりました。足立さん、鶴岡に遊びに来てください。

足立篤司君 4年間、お世話になりました。ロータリーの楽しさを実感できるようになった頃に退会となり残念です。鶴岡RCの発展を祈念します。

樋渡美智子君 足立さんありがとうございました。秋田でもお元気でご活躍ください。